

総監第 82 号
平成31年3月28日

総社市長 片岡 聡 一
総社市議会議長 加藤 保 博 様

総社市監査委員 風 早 俊 昭

総社市監査委員 小 西 利 一

財政援助団体監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項及び同条第5項に基づき財政援助団体監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により報告します。

平成30年度

財政援助団体監査結果報告書

総社市監査委員

財政援助団体監査報告書

1 監査の期日

平成30年5月31日から6月1日まで

2 監査対象団体及び所管部署

団体名	所管部署名	監査対象	補助金
1 そうじゃ吉備路 マラソン実行委員会	市民生活部 そうじゃ吉備路 マラソン推進室	そうじゃ吉備路 マラソン大会 共催負担金	34,330,000 円
2 S O J A イルミネーション 実行委員会	産業部 観光プロジェクト課	総社 イルミネーション 実行委員会負担金	4,000,000 円

3 監査の方法等

平成29年度に総社市が財政援助を行った団体のうち上記の団体について、補助金が交付目的に従って適正かつ効果的に執行されているかどうかの主眼を置いて監査を実施した。

監査に当たっては、対象団体及び所管部署から関係書類の提出を求め、当該書類の検査を行うとともに関係職員から説明を聴取し実施した。

4 対象団体の概要

1 そうじゃ吉備路マラソン実行委員会

(1) 設立目的

そうじゃ吉備路マラソンを開催するにあたり、円滑な運営を期し、必要な準備と安全な運営を行うことを目的に設立した。

(2) 活動の内容

上記の目的を達成するため、次の活動を行う。

- ① 大会の開催、運営に必要な企画及び準備、運営に関すること。
- ② 市民スポーツ意識の高揚及びスポーツ活動の普及に関すること。
- ③ 関係競技団体、関係機関との連絡調整に関すること。
- ④ その他大会の目的を達成するために必要なこと。

(3) 第10回記念大会での主な事業結果

- ① ボランティア・役員用記念ポンチョの作製
- ② 招待選手の増員
- ③ 開会式会場をトラックウイングから常設ステージに変更し開催
- ④ エントリー数、完走者数ともに過去最大
- ⑤ マラソン協賛企業のみズノ楸に対し、スペシャルゲストランナー間寛平さんのデザインTシャツの作製と販売を依頼

2 SOJAイルミネーション実行委員会

(1) 設立目的

イルミネーションでまちを明るく彩り、地域の活性化に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① イルミネーションの開催に必要な企画、準備及び運営に関すること。
- ② 関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- ③ その他本会の目的を達成するために必要なこと。

5 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金はおおむね適正に執行されていると認められたが、次の事項について改善を要するので、適切な措置を講ずるとともに適正な事務処理をされたい。

1 そうじゃ吉備路マラソン実行委員会

(1) 会計事務について

平成29年度は第10回記念大会のため通常予算よりも1,000万円増額している。これは主にボランティア用ポンチョの作製や招待選手の増員、参加記念品、警備、輸送バス、給水用品などの参加者増加による費用に充てられている。会計事務の執行についてはほぼ適正に処理されていたが、実行委員会から事業を委託したものについて、委託業務の一部において、検査が不十分なものがあつた。事業完了後は報告等を受けるよう検討されたい。

また、イベント出演者への謝礼を支払った際には、可能な限り受け取りを徴収されたい。

2 SOJAイルミネーション実行委員会

(1) 会計事務について

総じて現金の執行については適正に執行されていたが、会則に会計取扱事務についての条項が存在せず、見積書の徴取や契約書の締結等についての基準が統一されていない。実行委員会として公正、公平な執行を期するため、市の契約規則、財務規則等を参考にするなどにより、実行委員会としての取扱いを明確にされたい。

(2) 事業目的等

事務局を観光プロジェクト課に置いているが担当部長への回議が見受けられなかった。事案の内容により回議・決裁をするよう検討されたい。

6 監査委員の意見

総社市の規模で2万人を超えるマラソン参加者の事業運営は少数職員だけではかなりの負担を強いており、全庁をあげての取組みにも限界がある。全国から参加をされる多くの選手の皆さんの安全で快適に競技を楽しんでもらう事や、率先して参加してくださるボランティアの方々の活動にも配慮は到底できていないように見受けられる。

2020大会へ向けて、競技種目の見直しや参加人数に見合ったコースの再設定など、大幅な改革も視野に入れ検討されたい。

また、例年の行事として定着しつつあるイルミネーションではあるが、関連事業として開催されるこたつ100個ライブも含め、このイベントの費用対効果や職員の業務執行体制の負担等も考慮に入れ、改善されたい。

いずれも大会を重ねるごとに問題点をクリアし評価を上げていく努力は見られるが、大会の円滑な運営のために多様な意見にも耳を傾け、反映していく努力を惜しまないでほしい。